

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ①エネルギー変換の技術とは何だろう ②発電の仕組みと特徴 ③電気を供給する仕組み ④電気回路について考えよう ⑤電気機器を安全に使用するための技術 ⑥運動エネルギーへの変換と利用 ⑦回転運動を伝える仕組み ⑧機械が動く仕組み ⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ ⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう	10	(1)生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること	・電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。	・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている	・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。
エネルギー変換の技術による問題解決 ①問題を発見し、課題を設定しよう ②電気回路を設計・製作しよう ③機構モデルを設計・製作しよう ④問題解決の評価、改善・修正	9	(2)生活や社会における問題を、エネルギー変換の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができること。 イ 問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること	・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。	・問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

<p>社会の発展とエネルギー変換の技術 ①エネルギー変換の技術の最適化 ②これからのエネルギー変換の技術</p>	<p>2</p>	<p>(3)これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。 イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。</p>	<p>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を理解している。</p>	<p>・エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。</p>	<p>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。</p>
<p>生物育成の技術の原理・法則と仕組み ①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術</p>	<p>6</p>	<p>(1)生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること</p>	<p>・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している</p>	<p>・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。</p>	<p>・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

<p>生物育成の技術による問題解決 ①問題を発見し, 課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長段階に合わせて適切に育成しよう ④問題解決の評価, 改善・修正</p>	<p>6</p>	<p>(2)生活や社会における問題を, 生物育成の技術によって解決する活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 安全・適切な栽培又は飼育, 検査等ができること。 イ 問題を見いだして課題を設定し, 育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに, 栽培又は飼育の過程や結果の評価, 改善及び修正について考えること</p>	<p>・安全・適切な栽培又は飼育, 検査等ができる技能を身に付けている。</p>	<p>・問題を見いだして課題を設定し, 育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに, 栽培又は飼育の過程や結果の評価, 改善及び修正について考えている。</p>	<p>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 課題の解決に主体的に取り組んだり, 振り返って改善したりしようとしている。</p>
<p>社会の発展と生物育成の技術 ①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術</p>	<p>2</p>	<p>(3)これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える活動などを通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会, 環境との関わりを踏まえて, 技術の概念を理解すること。 イ 技術を評価し, 適切な選択と管理・運用の在り方や, 新たな発想に基づく改良と応用について考えること。</p>	<p>・生活や社会, 環境との関わりを踏まえて, 生物育成の技術の概念を理解している。</p>	<p>・生物育成の技術を評価し, 適切な選択と管理・運用の在り方や, 新たな発想に基づく改良と応用について考えている。</p>	<p>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</p>